

2. 指標設定

成果指標	指標名	対象者への対応		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			見舞金等を支給することにより市民の生活の安定に資することができるため			
活動指標	指標	a	見舞金支給	b	弔慰金の支給	c	住宅再建資金支給	d
	数値	目標	—	目標	—	目標	—	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
対象者への対応	件	6 件	16 件	6 件
		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 見舞金支給	件	5 件	12 件	5 件
b 弔慰金の支給	件	1 件	1 件	1 件
c 住宅再建資金支給	件	0 件	3 件	0 件
d				

4. 課題と対応

課題
対象者や家族と連絡が取れない時がある
対応（改善点等）
消防署や自治会等の協力を得て情報収集を行い、できるだけ早く支給する

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

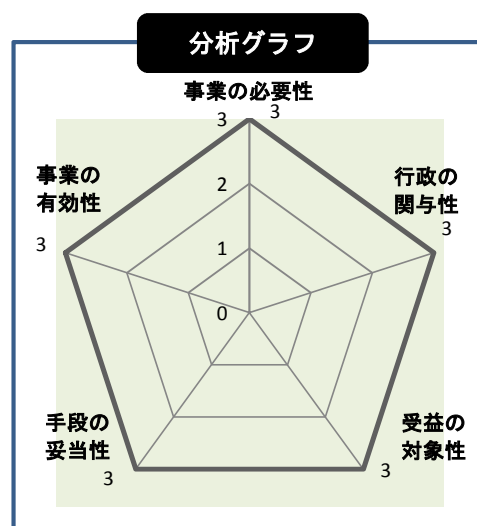
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		369	7,544	360	1,546
うち経常経費		369	484	360	1,546
財源内訳	国費		1,500		
	県費	55	62		500
	市債				
	その他				
	一般財源	314	5,982	360	1,046
うち経常		314	422	360	1,046
事業費に係る人件費		9,849	9,898	9,197	9,030

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
いつ起こるか分からない災害に対して、一定の予算が必要のため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 被災した市民の援助のために必要な事業
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 行政が行うべき事業
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 全市民が対象となる
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 要綱等に基づき適切に支給することが妥当な手段
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 対象となる世帯に支給できている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	情報収集に努め、適宜迅速に対応すること